

巻頭言 大会開催におけるそれぞれの念い



日本教職員バドミントン連盟
常任理事 伊木 文枝

2022年8月、3年ぶりとなる第61回全日本教職員バドミントン選手権大会が愛媛県松山市において開催されました。

2020年1月、日本国内で初めて新型コロナウイルスの感染が確認されて以来、感染者数はどんどん増え続け、2月末には政府から全国に小中高校に臨時休校の要請が出されました。3月からの臨時休校で教育現場に大混乱が来たことは、まだ記憶に新しいところです。緊急事態宣言が発出され、さまざまな対策が講じられ、得体の知れない新型コロナウイルスの猛威により、第59回全日本教職員大会（高知開催）は早い段階で中止となりました。

2020年末からの第3波が収まり、2021年第60回全日本教職員大会（新潟開催）に向けて準備が進めてきている最中での第4波到来。迷いに迷いながらも開催する方向で考えていた矢先の第5波到来。1年越しの東京五輪は開催されたものの、1日3000人超えの可能性が示唆される東京。小池都知事からの「都内から出ないで」という呼びかけに私は真剣に悩みました。子どもたちを教育する立場にいるものが、全国大会だからといって、この状況で東京都から出てよいものなのだろうか…。苦渋の選択で私が出した結論は「出場辞退」でした。しかし、各地においても緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が講じられ、結果、第60回全日本教職員大会も中止となったのでした。

そして迎えた2022年。オミクロン株感染拡大による第6波到来。誰もが今年こそは開催したいという思いをもって準備を進めてきました。しかし、またもや開催間近になって訪れた第7波。しかも尋常ではない感染者数。開催地である愛媛県でも過去最多感染者数を更新する日々。今年度の開催も断念するしかないのではないかと何度も考えました。しかし、愛媛県の方々に「中止」の文字はありませんでした。新型コロナウイルス感染症拡大の影響が収まらない中で第61回全日本教職員大会が開催されたのです。

開催に至る過程に、開催地である松山市と全日本教職員連盟高橋会長との固い絆があったのだということを実地入りして初めて知りました。開会式や全日本教職員連盟60周年式典、また大会運営のすべてにおいて、愛媛県及び松山市関係者皆様の温かさ、その根底にある高橋会長との固い絆、双方の信頼関係が溢れ出ており、安心感に包まれた大会であったと私は思います。愛媛県バドミントン協会、愛媛県教職員バドミントン連盟、松山市バドミントン協会の皆様へ心より感謝申し上げます。

まだ今後も新型コロナウイルス感染症拡大の懸念は続くのだと思います。しかし、新型コロナウイルスについて私たちの理解も進みました。今回の大会では、マスク着用や手指消毒等、選手の方々の教育者だからこそ意識の高さを感じました。今後も子どもたちにとって、バドミントン選手としても、大人としても「最高のモデル」でありたいと再認識した大会でした。

本当にありがとうございました。3年ぶりの大会、心から「楽しかった！」です。

巻頭言

令和四年度 総会資料

総会議事録

令和三年度決算

令和四年度予算案

令和三年度事業報告

令和四年度事業計画案

第六十一回大会資料

今大会を顧みて

レフェリー報告

令和四年度表彰者一覧

総合順位

成績表

団体戦 トーナメント表

個人戦 トーナメント表

表紙の人

派遣審判員一覧／閑話休題